

令和元年第4回東大和市議会建設環境委員会記録

令和元年7月30日（火曜日）

出席委員（7名）

委員長	床 鍋 義 博 君	副委員長	尾 崎 利 一 君
委員	二 宮 由 子 君	委員	木 下 富 雄 君
委員	関 田 正 民 君	委員	佐 竹 康 彦 君
委員	中 間 建 二 君		

欠席委員（なし）

委員外議員（なし）

議会事務局職員（5名）

事務局長	鈴 木 尚 君	事務局次長	並 木 俊 則 君
議事係長	尾 崎 潔 君	主任	櫻 井 直 子 君
主任	高 石 健 太 君		

出席説明員（なし）

会議に付した案件

（1）所管事務調査

観光行政に関することについて

午前 9時59分 開議

○委員長（床鍋義博君） ただいまから令和元年第4回東大和市議会建設環境委員会を開会いたします。

○委員長（床鍋義博君） 所管事務調査、観光行政に関することについて、本件を議題に供します。

前回の委員会において、本件を所管事務調査に決定いたしましたので、本日は今後具体的にどのような形で調査を進めていくか、御協議をいただきたいと存じます。

御意見がございましたら御発言をお願いいたします。

○委員（佐竹康彦君） おはようございます。

東大和市の観光行政について、今後建設環境委員会で調査を進めていくということですので、まずは東大和市がどのような形で今観光行政を進めているのかについて、所管の職員の方に来ていただいて、さまざまな政策の進捗状況、また今後の展望について伺いたいということが、まず1点ございます。

その上で、今東大和市が取り組んでおります広域連携での観光事業に関しまして、この狭山丘陵を中心とした観光連携事業に関します事柄、これを現地の視察等も含めてさまざま行ってまいりたいと思います。

この狭山丘陵の観光資源の発掘につきましては、東大和市は当然といたしまして、お隣の武蔵村山市、東大和市、また西武・狭山丘陵パートナーズ、また瑞穂町、所沢市、入間市など、こういった各市にも、現地も含めてお訪ねして、さまざまな御意見、または事業の進捗状況を伺いたいというふうに思っております。

まず、柱としては、やはり当市の観光行政がどうなっているのかということ、今後どうしていくのかということについて調査・研究したいというふうに私は考えております。その上で、その比較対象として、まずは近隣・他自治体がどのような取り組みをしているかということで、この多摩地域を中心といたしまして、またお隣の埼玉、また23区内、また神奈川、また関東近県等で行っているその観光行政について、日帰りでの視察になるかと思うんですけれども、さまざま取り組みを見に行きたい、視察できればなというふうに思っております。

例えばですけれども、例えば東京都台東区では、隅田川の花火大会などで、地域の自然環境、またイベントを生かした観光資源の取り組みがなされているようでございますし、また埼玉県秩父地域につきましては、地域連携のDMOを核といたしました組織の形成と新規事業の創設、こういったものも行われているようでございます。また、千葉県、神奈川県とも、当然観光地、たくさんございますので、さまざまな取り組みをされている自治体もあるかというふうに思います。

また、多摩地域の観光につきましては、特に東京都も多摩地域の観光ということで、この間力を入れていらっしゃるというふうに思いますので、可能であれば東京都の担当の方にも来ていただくか、私どもが出向いて、そういった多摩地域、東大和を中心といたしまして、多摩地域の観光についてどのようなお考えで今進められるのか、予算をどのように組んでおられるのか、この基礎自治体である我々がどのような形でそういった予算を使わせてもらうことができるのか、こういったことについて伺いたいのが1点ございます。

その上で、さらに範囲を広げて他県の取り組みについて、宿泊しながらはなるとは思いますけれども、先進的な取り組み、また意欲的な取り組みについてやっておられるところを視察できればなというふうに思っております。例えば幾つかちょっと資料等を見てみたんですけれども、例えば鳥取県米子市ほか何市かにつきましては、これも東大和市と同様にパートナーシップによる広域連携によりまして、インバウンドの誘致の促進をしておられるということでございます。

東大和市は、今現在インバウンドということは余り注目していないのかなというふうには思っているところですが、インバウンド、これからますます外国人の観光客の方もふえるというような予想もされている中で、東大和市にもどういった形でそういった取り組みが参考になるのか、こういったことも見ていきたいなというふうに思います。

また、日本版DMO、観光地域づくりプラットフォームの取り組みということで、これは割と近いところなんですけども、山梨県の北杜市ですとか、長野県の富士見町等々、そういったプラットフォームづくりに関します取り組みについて見ていかれたらいいのかなというふうに思っております。

また、これも新しい考え方と思うんですけども、インフラツーリズム、いわゆる社会的なインフラをその観光資源としようという形で、湯田ダムというところを活用した岩手県西和賀町というところ、これを活用した地域活性化を行っている、そういった地域などもあるようでございます。

また、これは少し資料の年代が古かったんですけども、和歌山県新宮市などでは、ニューツーリズムへの取り組みということで、地域の歴史、文化にまつわる観光資源の特徴とその活用ということについて取り組みをされているようでございます。新宮市は、特に熊野古道ですとか、歴史的にも、また文化的にも大変貴重な、そういったものを生かした形で、地元のそういったもの、資源を生かした形で観光の活性化に取り組んでいるというような事例がございました。

その中にも、さまざま、今、先ほど申し上げましたようにインバウンドということもございまして、各地域がそれぞれいろんな角度から観光行政、取り組みを強めておられるようでございますので、今私が挙げたものにこだわらず、委員長のほう、また正副の委員長のほうでぜひにというような、こういったところを委員会として見たいというような御希望があれば、ぜひともそちらのほう、優先していただいた上で、進めていければなというふうに思います。

あと、もう一つ、補足というような形なんですけれども、少しこの所管事務調査の何をやるかという話し合いの中で、駅前再開発というようなお話が出たかと思うんですが、これも非常に市民の方からも強い要望のある事項でございますので、駅前再開発そのものを調査するというわけではないんですけども、駅前再開発をした結果、どのように地域の観光にそういうものが資することができるのかというような事例があれば、そういったものも視察させていただいて、調査、研究もできればなというふうに思っております。

以上です。

○委員長（床鍋義博君） ありがとうございます。

そのほか、意見ございますでしょうか。

○委員（中間建二君） 所管事務調査、観光行政に関することについての調査の中では、ぜひ東大和市駅周辺の開発、また今後の開発の展望等についても、現状について調査ができれば望ましいかなと思っております。

過去には東大和市駅の駅ビル開発計画等もあったというふうにも聞いておりますが、それが現状でどうなっているのか、今後進む可能性があるのか等についても、ぜひ市の認識、また西武鉄道等についても認識等について、計画があるのかないのか、そのあたりについてもぜひ委員会で調査ができればありがたいなというふうに思っております。

以上です。

○委員長（床鍋義博君） そのほか。

[発言する者なし]

○委員長（床鍋義博君） 大丈夫ですか。

それでは、現在、今佐竹委員と中間委員のほうから意見が出ました。簡単にまとめますと、東大和市の観光行政について、現状どういうふうに進めているのかということ、職員を呼んでヒアリングすると。そのほか、視察先も含めて、広域連携等で近県、関東、東京都内も含めて日帰りで行けるような、そんな視察も含めて調査をするということ。

また、他県においては幾つか今候補を出していただきました。それについて進め方として、あと、中間委員のほうからは、佐竹委員のほうからも出ましたけれども、東大和市駅前の開発、再開発について市の認識を聞いて、市だけではなくて西武鉄道、佐竹委員のほうからは西武パートナーズといった、そういう民間のところも含めて、ヒアリングをして進めていくっていう形で進めていこうというふうに考えておりますけれども、それでよろしいでしょう。

[発言する者なし]

○委員長（床鍋義博君） 大丈夫ですか。

○委員（尾崎利一君） そういう形で進めていただいていると思うんですけど、実際にどう進めるかっていう点でいうと、佐竹委員のほうからお話あった、まず市の部長に来てもらって、観光行政についてまず全般的に説明を受けると、その上で具体的な、ここを掘り下げる、あそこを掘り下げるっていうことについて委員会の場で決めて、次の視察に移っていくということになるのかなっていうふうに思います。

それから、これは協議会の場などでも、東大和市駅前のことについては多くの委員から意見も出ていましたので、これについてはその歴史的経過も含めて、まず全般的な、市からの説明を受けた上で、回を改めて市からも一度そこら辺整理して、説明を受けると。その後、できればその場で、そういう駅前の開発でうまくいっているようなところを、市としてわかっているところなどもあれば紹介してもらって、そういうところへ視察に行くということも含めて検討してはどうかっていうふうに思います。

それと、だから当面まず市からの全般的な説明を受けるということを出発点にするっていうことで、確認ができればいいのかなっていうことと、それから管外視察っていうか、1泊ないし2日で、2泊で行くような視察については、早期に、たくさん出されましたけれども、全部行くっていうわけにはいかないわけですし、早期にこれ、決める必要があるんだろうと思うんですけど、そこら辺のちょっと日程的なこと、ちょっと事務局のほうから説明していただければというふうに思います。

○議会議務局長（鈴木 尚君） 宿泊を含めて、管外の視察ということでございました。

宿泊ということになりますと、それなりの遠方ということもありますし、当然注目されるような人気の自治体ということになりますと競争率も激しいですから、早目に日程のほうは確認されて、その中で、こことここというところがあれば、幾つか候補を挙げておいていただいて、調整を早目にさせていただくということがいいかとは思いますが。

ただ、近隣市ということであれば、こちらもそこそ自由もきく、1日で日帰りということもできますから、それも、ですから候補を挙げておいていただく中で、宿泊の施設はこの辺なので、近隣の日帰りはこの辺とこの辺の間でどこかといえるところというようなやり方が必要かと思っておりますので、おおむね3定の中では、その辺の大体の日程は決めていただくのが必要かと。

あとは2泊3日であれば、宿泊の視察であれば、3定前には大体の日程、この辺でこことこのあたりに行きたいっていうのを言うておいていただいて、内々に調整を始めておくということがよろしいかと思っております。

どうしても注目される自治体になりますと、こちらの日程と、大体ほかの自治体も行かれる日程っていうのは、ほぼほぼ重なりますので、行きたい場所があるけどとれないというケース、今までも幾つもありますので、日程的な候補と自治体の候補と、早目に絞っていただいた中で内々に調整をさせていただければというのが事務局の考えでございます。

以上です。

○委員長（床鍋義博君） 暫時休憩します。

午前10時12分 休憩

午前10時14分 開議

○委員長（床鍋義博君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

所管事務調査の進め方については、尾崎利一委員からも意見が出ました。市の観光行政に関する施策について、部課長をまず呼んで、話を聞いて、その後、佐竹委員が言ったように、ほかの自治体の視察に行ったりとか、あと、民間企業のヒアリングを含めて進めていったらどうかということですが、それでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（床鍋義博君） それで、視察先については、今佐竹委員のほうから幾つか出していただきました。

私のほうでも幾つか候補というか、こんな行政をやってるよというところがありました。特に芸術を中心にまちづくりをしているっていうところで有名なところ、皆さん御存じだと思うんですけど、瀬戸内のところで直島とか、そういったところで、もう国内だけではなくて、海外のほうからもたくさんお客さんも来ているようですし、そういったところが幾つかありまして、直島だけじゃなくて瀬戸内全体のところを、時期がちょうどいいぐあいに重なるかどうかかわからないんですけども、そういったところも検討に入れておきたいなっていうふうに思っております。

また、それも含めてですね、今回出た意見を正副委員長のほうで預らせていただいて、それでちょっと候補、絞らせていただきたいというふうに思いますけれども、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員（尾崎利一君） 1点だけ、宿泊で行う視察の場合は、例えば今出たところで、幾つか自治体名、出てますけれども、そこへ行って、また遠く離れたところに行くっていうのもなかなかできないので、この所管事務調査と別に視察を立てて、近隣市で、所管の事務にかかわることで観光に限らず視察をするっていうこともあわせて確認しておかないと、観光だけで全部近隣で行くっていうことはできない場合もあると思いますので、そこも含めて一任していただくっていうことで確認していただいたほうがいいんじゃないかっていうふうに思います。

○委員長（床鍋義博君） 今尾崎利一委員のほうからありましたけれども、今そのような形で進めさせてよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（床鍋義博君） 今意見が出た中で、民間企業、幾つかは固有名詞も出て、ヒアリングするっていう話でしたけど、この辺、決定したとしても、相手先のこと、ありますので、可能かどうかっていうのも、あくまでも市の所管事務調査、一般事務ということなので、これは要検討ということでさせていただきたいというふ

うに思っておりますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（床鍋義博君） じゃ、そのように決めさせていただきます。

そのほか、意見。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（床鍋義博君） なし。

お諮りいたします。

本日の調査はこの程度にとどめたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（床鍋義博君） 御異議ないものと認め、さよう決めます。

○委員長（床鍋義博君） これをもって、令和元年第4回東大和市議会建設環境委員会を散会いたします。

午前10時18分 散会

東大和市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに署名する。

委 員 長 床 鍋 義 博